

# ポートランドへ行って

保健医療学部看護学科 市川綾香さん（鶴見大学附属高等学校出身）

ポートランドで過ごしたあつという間の4週間は、私にとって言葉では言い表せないほど貴重な経験となりました。2週間のホームステイ、大自然の中でのアクティビティなど、13人の仲間とともに過ごした濃い毎日は一生涯の思い出です。医療施設見学では日本とは異なるアメリカならではの医療を深く学ぶことができました。自分の意見ははっきり伝え、相手の意見はしっかり聞くという、日本にはあまり馴染みのないアメリカならではのスタイルに魅力を感じました。また、母国語の異なる人との交流は、意思疎通がうまくいかず英語力のなさを実感することも多々ありましたが、文法など気にせずとにかく自分から話しかけることで視野が広がり、得るものは多くあるのだと気付くことができました。



左から4人目が市川さん

# 吉田の火祭り

「吉田の火祭り」として知られる日本三奇祭のひとつ「鎮火大祭」が8月26日、例年どおり盛大に行われました。地元、富士吉田の大社である北口本宮富士浅間神社と諏訪神社をご祭神とするこの秋季大祭の主人公は、「火祭り」の名のとおり、夏の夜を焦がす紅蓮の炎。夕闇迫る午後6時過ぎ、町のいたるところに立てられた大松明に次々に火が灯されます。

当日は、あいにくの曇り空。冷夏を思わせる肌寒い晩でしたが、烈火のごとく燃え盛る無数の松明が宵闇のなかに赤々と浮かび上がり、吉田の町全体が幻想的な雰囲気になりました。昭和大学も毎年、高さおよそ3メートルにもなる大松明を納めています。大神輿を担いだ男衆たちが松明を立てると、今年も大学を代表して細山田学長がその頂点に火を灯します。あたかも富士の頂に火柱がのぼるかのよう。学長を中心に、昭和大学の面々も降りかかる火の粉をかわしながら、この町の一員である実感をかみしめます。肌を焦がす吉田の熱気に、浮世を忘れるひとときとなりました。



# Oxford 大学寮制度視察報告

富士吉田教育部 学生部長 田中一正

Oxford Universityまたは、University of Oxfordは1250年頃に創立された700年の歴史を誇る大学であり、歴代の英国首相を輩出し、Times誌の大学評価においても昨年視察したHarvard大学とともに世界ベスト5に入る大学です。Oxford Universityは約50年前に故上條一也教授が寮制を視察し、本学富士吉田キャンパスの全寮制教育の基本としたと記されている大学です。

1年次に必ず寮生活を行う制度をもつオックスフォード大学とカレッジの関係を見聞する目的で、9月30日成田を発ち、ロンドンからバスにてオックスフォードに向かいました。そしていくつかのカレッジに入場しました。入り口には必ず守衛室があり、厚い木の扉を潜り抜けた先に、石造りの歴史ある建物が並びます。青々とした芝生に覆われたQuadと呼ばれる中庭は必ず十字に中道がきられており、この周りを囲むようにカレッジの建物が四方を囲んでいます。宿舎と教会と図書館と食堂、これがカレッジの基本構造です。オックスフォード大学の研究室や階段講義室を見学した後、今回お世話になったKeble(ケーブル)カレッジに入りました。このカレッジは、オックスフォードでも珍しいレンガ作りの建物で、石との対比で美しい模様が描かれています。

このカレッジの管理者であるJanet Bettsさんに寮内の設備や寮生活のあり方を案内していただきました。カレッジは大学が学生達の生活の場として位置づけている施設であり、大学の学部教育を中心として修学を助ける重要な環境です。学生は入学する学部を選ぶと同時にカレッジも選びます。学習の場は大学にあり、各カレッジから大学に通い学ぶのです。すなわち、カレッジは昭和大学で例えるなら寮に当たります。

各カレッジには歴史から来る寮風が存在し、それぞれのカレッジに対する強い帰属意識、プライドが育まれます。オックスフォード大学で学ぶためには、大学への入学とともに自分の気に入ったカレッジへの入学を果たす必要もあります。また、教員もカレッジに属し、オックスフォードの教員として研究や指導に関わっています。



食堂(写真下)では、晩餐が用意されており、教授陣が座る雞壇での夕食となりました。まさにハリー・ポッターの世界です。その夜は学生寮(写真上)の部屋で一晩を過ごしました。翌朝、図書館、教員用の食堂兼会議室、卒業生や教授のための集会室などを見学した後、ケーブルカレッジを後にしました。

図書館で見た、寮の歴史に培われた寮風の中で勉学にいそむ学生の姿が目につきました。

大学では学生の国際交流を推進するため、海外実習・研修補助制度を設けて積極的に支援しています。

# 白百合 権

昭和大学だより 第7号 2009.11.5 発行

発行責任者 富士吉田教育部長 片桐 敬  
編集責任者 富士吉田教育部教授 倉田 知光  
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田 4562  
TEL 0555-22-4403



倉田知光撮影

# 富士吉田の環境を味わってみませんか

昭和大学富士吉田教育部教授(数学・統計学) 高木利一



昭和大学富士吉田校舎は富士山の麓にあり、河口湖よりさらに70m程高い所に位置しています。そのため河口湖に比べて気温は少し低くなります。この原稿を書いているのは10月中旬ですが、空気はかなりひんやりしています。数日前には富士山に初冠雪がありました。この富士吉田の環境は一年を通じて様々に変化しますが、これからは紅葉の美しい季節になります。

4月にこの富士吉田キャンパスに初めて来た学生諸君はすでに一年の半分以上を過ごしたことになります。前期のうちは、寮生活やクラブ活動、新たな授業や期末試験など慣れないことばかりで日にちの経つのも早かったのではないかと思います。また、後期になっても新たな授業が始まっていますし、前期試験の経験から、後期試験が気になっているかもしれません。

そのような日常の中でも、せっかく富士吉田に住んでいるのですから、ここにいる間に富士吉田の環境、さらには富士五湖地方の環境をぜひ味わってほしいと思います。このようなことを言っている私も、実は数年前までは東京に住んでいたため、富士吉田キャンパスに来てから教室・研究室・寮の間を行き来するだけで、この地方をよく知ることはありませんでした。しかし、富士吉田に住んでみると、本当に素晴らしい環境だと実感しています。

つい最近も富士山の五合目に行ってきました。富士吉田登山口からスバルラインで行く五合目は観光客がかなり多いのですが、先日行った須走口の五合目は人もそれほど多くはなく、とても良い所です。五合目から1キロ程行ったところに小富士というところがあります。これは富士山の脇に噴出した小さな火山ですが、ここは眼下に山中湖を見下ろし、忍野、富士吉田、河口湖が一望に見渡せて非常に素晴らしい眺望でした。

須走口五合目では11月初めには店を閉めるということでしたが、これからは別の場所がお勧めになります。たとえば、紅葉台から五湖台をハイキングしてみても良いでしょう。ここは緩やかな山道ですから気軽に歩くことができます。

昭和大学富士吉田キャンパスでの一年間は寮生活を通して一生の友人を得る機会になりますが、また、なかなか味わうことのできない素晴らしい環境にも恵まれています。ぜひ、この環境を味わってみてください。

# 医療人に一歩近づく… 早期体験実習

平成21年度早期体験実習が8月31日～9月18日に行われました。本年度から4学部合同の実習として高齢者疑似体験、病院実習、高齢者介護施設、福祉等の施設体験実習ならびに救急・心肺蘇生講習が行われました。また、並行して行われた学部別実習では、それぞれの学部学生が自らの将来像に触れる、学部ごとの特色を生かした実習が行われました。

学部合同の実習では5人1組になり、それぞれのグループは4学部の学生で構成され、将来携わるチーム医療を1年生の時から体験する重要な機会になりました。福祉施設、高齢者介護施設での実習では普段行えない入浴介助や食事介助を通して、近年の核家族化によって失われつつある世代を超えたコミュニケーションスキルの習得など、貴重な体験ができました。施設での実習では、将来医療人をを目指す学生として不可欠な、他者を思いやる気持ちの醸成ができたものと思います。また、病院実習では、手術室に入って実際の手術を見学させていただいたり、新生児室で新生児を抱かせていただいたりと、“命の重さ”を考え、人として、また、医療人をを目指す学生として大きな成長に結びつくすばらしい体験実習になったことと思います。



真剣なまなざしで薬剤師体験



薬局実習

高齢者疑似体験



車椅子を使うのも介助するのも大変

病院実習(手術室見学)



現場の緊張感を肌で感じました

一人でも多くの人を助けることができるように…



BLS講習(心肺蘇生法とAED)



救急法



いざというときに役に立ちたい

施設実習



笑顔で会話するとコミュニケーションもスムーズ

植物介在療法実習

